



自衛隊栃木地方協力本部

栃木地本主催「自衛隊グリーンフェスタ2024」 ～アーケード街いっばいに並ぶ圧巻の装備品でPR～



自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は5月26日（日）、宇都宮市内のオリオンスクエア及び隣接するアーケード街のオリオン通りで「自衛隊グリーンフェスタ2024」を開催した。これは2014年から続く栃木地本主催のイベントであり、コロナ禍による中止や縮小開催を経て今回で9回目を迎えた。

当日は、約1万人が来場し、航空自衛隊中部航空音楽隊による野外コンサートでは、「ジャズのまち」で知られている宇都宮市にちなみ、ジャズを含む7曲の演奏が午前、午後と2回行われ、会場いっばいに集まった観客を魅了した。また、音楽隊長の五味淵3空佐が自己紹介をし、地元の栃木県出身であることを話すと、会場から拍手がおこり会場一帯が親近感に包まれた。演奏後、「地元出身の音楽隊長さんが来てくれてとっても嬉しかった」「感動して鳥肌が立ちました。来年も来て欲しいです」等の感想が聞かれた。ステージイベントでは音楽演奏のほか、女性パイロット（航空教育集団司令部（浜松）二見佳菜恵 空曹長）によるトークショーや自衛隊ユニフォームセレクション（制服紹介）も行われ、老若男女問わず、多くの来場者で盛り上がった。オリオンスクエア内のオープンエリアでは人命救助システムの説明や陸・海・空自衛隊説明コーナーが設けられ、陸・海・空広報官等が説明にあたり、募集広報に大きな成果を得た。また、女性パイロットが対応する場面では「戦闘機の女性パイロットってすごいですね」と経験談等に聞き入る姿が見られた。オリオン通りでは、制服試着のほか中央即応連隊（宇都宮）、東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）及び航空自衛隊百里基地第7基地防空隊の支援を受け155mm榴弾砲FH70、野外炊具1号、軽装甲機動車、96式装輪装甲車、輸送防護車、1/2トトラック、偵察用バイク、基地防空用地対空誘導弾発射装置などの自衛隊車両がアーケード街の道いっばいに並んで展示され、来場者からは「こんな街中で自衛隊の車両がたくさん見えるなんてすごいです！貴重な機会になりました！」「初めて見る装備がいっぱい並んでいました。今日は餃子を食べに来たけど、自衛隊のイベントも見ることができて楽しい一日になりました！」と好評を得ていた。

栃木地本は「今後も広報イベントを通じ、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の促進及び募集広報に邁進していく」としている。

